

内閣府から「令和3年度地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」 の表彰を受けました

当行は、女性行員プロジェクトチーム「Jewelina」による地方創生に対する取組みが、内閣府から、令和3年度「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」として表彰されましたのでお知らせします。

地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」は、全国の金融機関等の地方創生に資する取組みのうち、地方公共団体と連携している事例や先駆性のある事例などを表彰するものです。令和3年度は、当行の取組みを含めた31事例が選定され、その内容は、内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局のホームページで公表されております。

内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局のホームページ

<https://www.chisou.go.jp/sousei/meeting/kinyu/jirei.html>

※令和3年度表彰事例の公表は3月17日（木）午前中に予定されている。

記

1. 十六銀行の取組み内容

（1）テーマ

女性行員による商品・サービス開発プロジェクトチーム「Jewelina（ジュエリア）」による マッチングサービスの導入

（2）内容

当行女性行員による商品・開発プロジェクトチーム「Jewelina」（2020年2月設立）が2020年8月にリリースしたマッチングサービス「Skill matching by ガラスの靴プロジェクト」が特徴的な取り組み事例として認定されました。

これは、特技やスキルを持つ女性に、地元企業で単発の委託業務を請け負う機会を提供することで、地元の女性の創業や社会参画を促すことを目的としたサービスです。当行が平成27年に「特徴的な取組事例」として表彰された「逆見本市型商談会（サプ라이어探索サービス）」の仕組みを活用したのが特徴です。

サービス開始以来、10件の商談が行われ、9件のマッチングが成立しています。

2. 表彰式の概要

2022年3月16日（水）には、全国をオンラインでつなぎ、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）野田聖子氏の出席による表彰式が実施され、当行からは、頭取の石黒が出席しました。

- (1) 開催日時 2022年3月16日（水） 17：30～18：15
- (2) 開催場所 十六銀行本店ビル9階
※全国を繋いだZoomによるオンライン形式での表彰式
- (3) 参 加 者 内閣府特命担当大臣 野田 聖子 氏
十六銀行 頭取 石黒 明秀
Jewelriaのメンバー ほか



当行は、これからもお客さま・地域の成長と豊かさの実現に向け、地方創生への取組みに積極的に取り組んでまいります。

●.「女性行員プロジェクトチーム「Jewelja(ジュエリア)」によるマッチングサービスの導入」

(十六銀行)

1. 取組の概要

- ・Jeweljaは、2020年2月に開始した営業店に勤務する「地域に貢献したい」という思いのもと集まった女性行員9名と本部勤務の女性行員2名の計11名で活動する商品・サービス開発プロジェクトチーム。(以下「本プロジェクト」)
- ・2020年8月末には、「地域の女性が得意分野を活かす機会を創出することで、地域活性化を図りたい」というメンバーの思いから、特技や資格を有する地元の女性と地元企業をマッチングするサービス「Skill matching byガラスの靴プロジェクト」(以下「本サービス」)をリリースした。

2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

- ・地域金融機関として、地域の様々な課題への対応や多様化するニーズに対応していくためには、既存の枠組みにとらわれない柔軟な発想を取り込んでいく必要があるという課題認識があった。かかる中、家庭・企業・地域で様々な役割をこなす女性行員に着目。女性ならではの視点や感性を取り入れて「商品・サービス開発」に取り組み、地域活性化及び当行のプレゼンス向上を図ることを狙いとして立ち上げた。

3. 具体的な取組内容

- ・従来の事業計画策定等を支援する一般的な起業支援ではなく、起業意欲のある女性が「実践に移す機会」を提供。具体的には、銀行の「取引先とのネットワーク」という強みを活用し、特技を有する女性と地元企業のニーズをマッチングしている。
- ・考案時に、「起業意欲があるものの、特技を生業とすることができるのかが不安で起業に踏み込めないという女性が多い」という課題をヒアリングから得たこと、女性目線で課題を解決したいという取引先企業のニーズを日頃のリレーションの中で把握していたことから、双方のニーズがマッチすると判断しサービス化に至った。
- ・岐阜県では、全国でも子育てを機に離職する女性が多いという特徴があり、「女性の社会進出」が課題となっているため、本サービスを通して女性の活躍の場を広げ、多様な働き方を応援することで、持続可能な社会の後押しに貢献していく。

4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

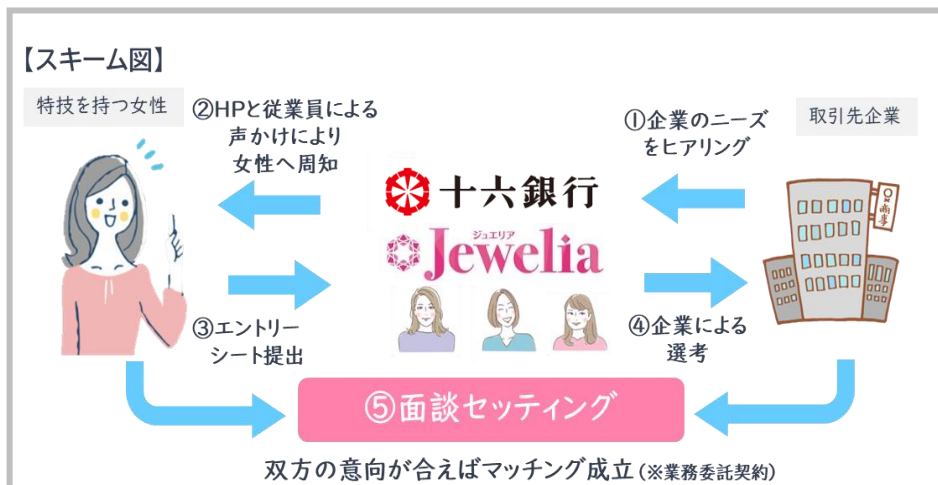
- ・本プロジェクトは、慣習となっていた「サービスの企画は本部行員のみで完結する」という認識を改め、日頃から顧客との接点を持ちニーズを把握する営業店勤務の女性行員とともに推進することで、真のマーケットインアプローチに基づく商品企画を実現する体制を構築。
- ・本サービスも、メンバーが深耕を図っている顧客との会話の中で、そのスキルに着目し、活かせる場を提供できないかとの発案を起点とした。
- ・案件となる企業の課題やニーズの発掘は、営業店で勤務する渉外担当者が顧客との対話の中での気づきから案件化を進めており、顧客との対話を深める新たなツールとして営業店が利用しやすい設計とすることで、全職員で女性活躍を推進する機運を高めている。

5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

- ・事業者からは、コンスタントに月に1、2件程度の案件応募があり、これまでの商談実績は10件。マッチングは9件。
- ・起業を考える女性や、社会と繋がりたい女性の思いに応えると同時に、企業に対しては、今まで応えられなかったきめ細かなニーズ、特に男性比率が高く女性目線を求める声に対応できるようになった。
- ・2021年9月からは岐阜市が主催する女性活躍推進事業に参画。自治体、NPO等と連携を図り地域の女性活躍に取り組んでいる。
- ・今後も、女性起業家の後押し、本サービスを通して接点を持った女性のニーズを捉え、新サービスを企画して地域の活性化に貢献していく。

6. スキーム図等

Skill matching by ガラスの靴プロジェクト



■その他Jeweliaの取組

- ①取引先企業の新商品企画にかかるアンケート調査
顧客の真の意向を調査したいというニーズを聞き取り。全従業員を対象としたアンケートを取り、市場調査に協力した。
- ②産学連携×Jewelia
取引先企業が扱う食材を活用したレシピを学生が考案し、レシピコンテストを開催。審査員としてJeweliaも参加。商品化に至った。

■マッチングによる成果物



塗装会社のチラシ



ECサイト用試作品



旅館のHP制作

【特徴的事例】

- ・男性従業員中心の建築塗装会社。
- ・従来の大手住宅メーカーの下請けから脱却し、個人宅の外壁塗装の受注割合増加を図る方針を掲げる中、消費の決定権を握る40代～60代の女性層への訴求策として、チラシの刷新に取り組みたいと考えていた。
- ・かかる中、当行支店長が本サービスを案内、当社より女性目線でチラシを制作してくれる方を探したいとの意向を受け、募集開始。
- ・デザインを学び、将来的には生業にしたいという意向を持つ女性とマッチング。
- ・ターゲット層に訴求するチラシが完成し、当社は、新たな営業推進ツールとして活用している。

■地域と連携した活動への深化

- ①岐阜市役所の令和3年度「女性の学び働く支援事業」への参画。
- ②めぐみの農業協同組合とともに進める農産物振興の取組。